

第21回奈良県新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事録

日時:令和3年5月18日(火) 13:00~14:25

場所:第1会議室

(本部長:荒井知事)

*配付資料「第二期 奈良県緊急対処措置 経過報告」に基づき説明

1. 奈良県の緊急対処措置について
2. 効果的な感染防止策の確定と徹底
3. 医療提供体制を護る措置
4. ワクチン接種の早期展開
5. 奈良県緊急対処措置の実行のため早急に必要となる経費

(谷垣産業・観光・雇用振興部長)

*時短要請の協力金について

・補正予算16億1400万円の内容に関して、市町村の時短要請協力金にかかる全体額は9市町で26億2000万円、県はその半分について上乗せ支援で13億1000万。また、1日4万円と6万円の一番上に乗っている市町の負担分3億400万円を県が全額支援。13億1000万プラス3億400万で、合計で16億1400万円。

(平田観光局長)

*感染防止等を行う宿泊施設の認証制度について

・飲食店等の認証制度と同様に創設。一体的に進めており、スケジュールも飲食店等と同様に、5月25日から認証申請の受け付けを開始。補助率は飲食店等と同様に4分の3。補助の上限額は、宿泊施設の施設規模により4段階に区分(50室以上の施設で最大750万円)。補助の対象経費は、感染症対策に関する物品の購入等に対する費用に加え、非接触チェックインシステム導入など前向きな投資についても対象とした。

(鶴田医療政策局長)

*医療提供体制について

・前回示した病床数から8床の増加。民間の2病院が増えた。増床予定日に病床が稼

動できるよう、病院をサポートしたい。

(石井福祉医療部長)

*ワクチン接種の早期展開について

・研修医の派遣希望のあった市町村と、派遣の規模、日程、看護師等のバックアップ体制の充実により、1人の研修医が打てる1時間あたりの人数を増やす方法を協議中。研修医を派遣してくれる医療機関との調整も進めていく。

・各市町が7月までに高齢者の接種が完了するよう、市町村と丁寧に協議しながら支援をしていきたい。

(舟木知事公室局長)

*「県民だより奈良」臨時号について

・原稿を配布している。県の緊急対処措置のポイントをコンパクトにまとめつつ、笠原先生に監修してもらい、感染経路に応じた感染予防を記事として掲載。ここに必要な時点修正を加え、イラストなどのデザインを施した上で、今月下旬から県内全戸に配布を開始したい。

*終了後、知事記者会見実施